

平成 31 年漁期すけとうだらオホーツク海南部漁獲可能量（TAC）の
改定について（案）令和元年 10 月
水 産 庁

1 TAC

漁業種類	沖合底びき網漁業
改定後	54,900 トン
改定前	52,900 トン

改定の考え方

- 1 本資源については、我が国水域への来遊状況に年変動があることを考慮して、来遊状況が良好な場合に対応できる数量として、「近年の最大漁獲量」をベースに TAC を設定している。
- 2 今漁期の沖合底びき網漁業の漁獲量は、令和元年 8 月時点で過去最大規模の 43,745 トンに達し、漁期全体の予想は、従前の「近年の最大漁獲量 52,900 トン」を上回る。
(沖合底びき網漁業の平成 31 年の予想漁獲量の考え方)
(1) 4 月から 8 月までの漁獲実績：43,745 トン
(2) 9 月から 3 月の予想漁獲量：近年の最大値（10,364 トン；平成 27 年）
(1) + (2) = 54,109
- 3 水産政策審議会第 84 回資源管理分科会資料 5 「漁獲可能量（TAC）の配分シェアの見直しについて」に基づき、上記で得た数値の 1,000 トン未満を切り上げ、知事管理分に相当する量（100 トン）を含めて 55,000 トンとする。

2 配分

別紙のとおり。

参考：すけとうだらTACの推移（直近5漁期）

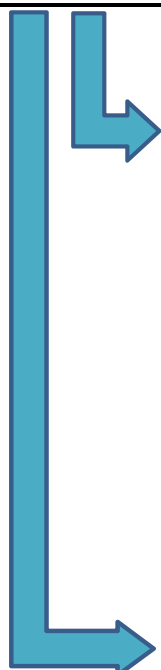
単位：トン

系群	R1年 (案)	H30年 (2018年)	H29年 (2017年)	H28年 (2016年)	H27年 (2015年)
日本海北部	6,300	6,300	6,300	8,300	7,400
オホーツク海南部	55,000 (53,000)	53,000	53,000	53,000	53,000
根室海峡	20,000	20,000	20,000	20,000	27,000
太平洋	173,000	173,000	184,000	180,000	183,000
総漁獲可能量	254,300 (252,300)	252,300	263,300	261,300	270,400

※括弧内は改定前の数量

平成31年漁期すけとうだらオホーツク海の海域漁獲可能量（TAC）の改定について（案）

第一種特定海洋生物資源	総漁獲可能量（トン）
すけとうだら	254,300
	(252,300)



大臣管理分			
指定漁業の種類	数量（トン）	操業区域	数量（トン）
沖合底びき網漁業		北日本海の海域	3,200
	160,000 (158,000)	オホーツク海の 海域	54,900 (52,900)
		北太平洋の海域	101,900

知事管理分		
都道府県名	数量（トン）	注記
北海道	92,600	青森県、岩手県及び宮城県については、若干とする。

※黄色欄の下段括弧内は改定前の数量